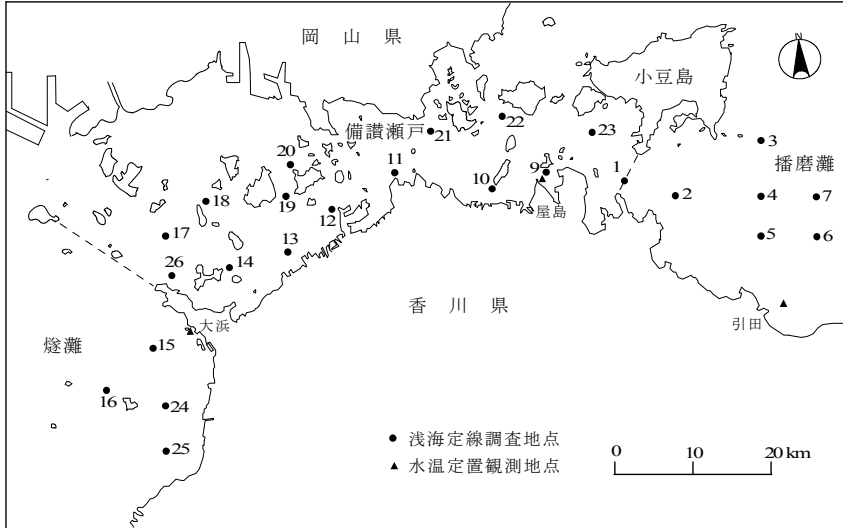


香川県漁海況速報 平成 22 年 3 月 (H21-12 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 22 年 3 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みから著しく高め」、透明度は「やや低めから著しく高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

3 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	9.6	9.4	9.3	33.0	33.0	33.2	7.9	6.39	6.27
	平年値	8.7	8.6	8.5	32.7	32.8	32.8	9.4	6.68	6.55
	平年偏差	0.9	0.9	0.8	0.3	0.3	0.4	-1.5	-0.29	-0.28
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.5	1.9	0.34	0.31
	状 況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	10.2	10.2	10.2	33.3	33.3	33.3	5.9	6.33	6.36
	平年値	8.8	8.7	8.7	32.9	32.9	32.9	5.8	6.45	6.47
	平年偏差	1.4	1.5	1.5	0.4	0.4	0.4	0.1	-0.12	-0.11
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	1.3	0.32	0.33
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	11.5	10.5	10.4	33.2	33.5	33.6	12.8	6.61	6.17
	平年値	9.6	9.4	9.3	33.1	33.2	33.2	8.1	6.60	6.35
	平年偏差	1.9	1.2	1.1	0.2	0.4	0.3	4.7	0.01	-0.18
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.4	2.0	0.38	0.44
	状 況	著しく高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	やや高め	やや高め	著しく高め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

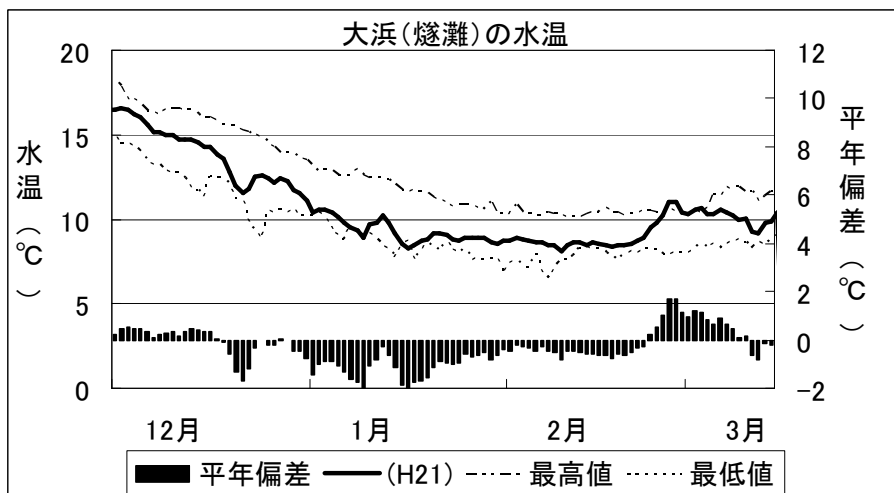
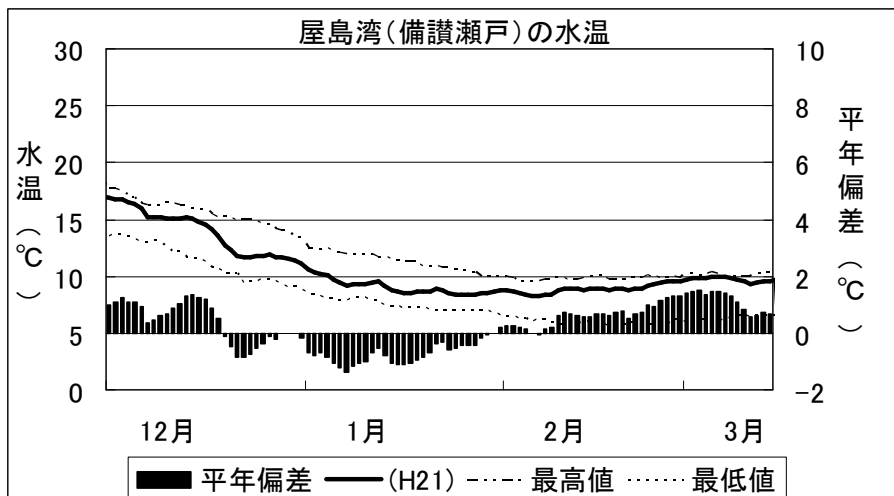
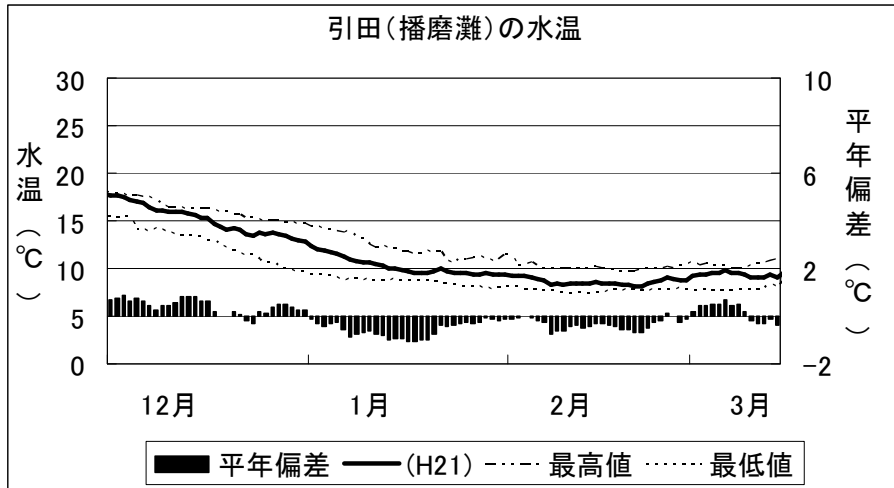
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 12月は平年並みからやや高め, 1月は平年並みからやや低め, 2月からは平年並みから著しく低め, 3月初旬はやや高めから著しく高め, 中旬からは著しく低めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 12月はかなり高めからやや低め, 1月はやや低めから平年並み, 2月は平年並みからかなり高め, 3月はかなり高めからやや高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 12月はやや高めからかなり低め, 1月は著しく低めから平年並み, 2月はやや低めから著しく高め, 3月はかなり高めからやや低めで推移している。(1月に過去最低値を更新。2月末から3月始めに最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (2月18日～3月15日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成22年3月1日（備讃瀬戸，燧灘），2日（播磨灘）

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	-	-	-	0		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	-	-	-	0		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.09		
	対平年(%)	-	-	-	-	-	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	-	-	-	0		

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

イカナゴ：平成7年(1993)～平成20年(2008)年度

今回の調査点ではカタクチイワシ卵，イカナゴ稚仔は，確認されなかった。

2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類, 小エビ類, ガザミ, オニオコゼ, マアジが漁獲されているが, 全般的に低調である。 建網では主にメバル, カサゴ, カワハギが漁獲されているが, 低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類, メイタガレイ, マダイ, ヒラメ, スズキ, タイラギ, マアナゴ, イイダコ, コウイカ類, 小エビ類が漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の2月漁獲量は, 30~50Kg/隻/日程度で不漁だった前年とほぼ同様の漁獲である。 高松・庵治沖のイカナゴ込網の2月の漁獲量は, フルセが8トン, シンコが102トンの計110トンで, シンコ漁は不漁だった前年の約30倍と好調である。
燧 灘	底びき網では主にイヌノシタ, メイタガレイ, オニオコゼ, ナシフグ, シャコ, スズキ, 小エビ類が漁獲されている。 建網では主にカサゴ, メバルが漁獲されている。